

**めざす子ども像****地域に対する誇りと、地域を大切にすることをもち、自ら考え主体的に行動する子ども****取組目標**

飛鳥の地域で生きる喜びを感じる子どもが育つこと。そのために、地域の土台となる家庭を支え、地域の中で教師が育ち、学校園と関わる地域人材が育つこと

**【今年度の取組紹介】**

飛鳥中学校区では、「飛鳥ブランドの子ども」として、一幼・一小・一中の強みを生かして、幼小中をひと続きとして、保護者・地域・学校で望ましい子ども像を共有し、子どもたちの豊かな育ちを支援しています。家庭任せ、学校任せではなく、地域のみならず地域の子どもたちを育てる為に、常に地域の協働を軸とした取組をしています。幼稚園、小学校では地域の方々との交流と見守りを大切にしながら、次第に子どもたちに役割を渡し、子どもたちの活躍の場を広げ、やがてこの地域の担い手として主体的に関われるよう期待をしています。地域の大きなイベントである飛鳥フェスティバルにおいてはコーディネーターが中心となり、幼小中それぞれの園児・児童・生徒が役割を担い、活躍できる場をつくることができました。それ以外にも幼小中の様々な場面で常に地域との協働で取組をすすめました。最終的には、コーディネーターによる中学校生徒への面談の中で、現在の取組の成果とこれからの課題を把握し明確化して今後の活動につなげています。



特に今年度からは年間を通して「飛鳥 CS だより」の発行を実現し、飛鳥中学校区の取組を広く地域全体に知ってもらうことができました。来年度以降はこの取組を継続・発展させるなかで、そこから飛鳥中学校区地域教育協議会の活動に興味を持ってもらい、また広く様々な活動に関わってもらえるボランティアの裾野を広げていきます。そうすることで飛鳥中学校区の子どもたちをより多くの他者と出合わせ、より多様な関わりの中で育てることができます。その積み重ねにより、さらに飛鳥中学校区の幼小中の子どもたちを、この地域に誇りを持ち、いずれはこの地域で活躍できるように育てていけるようにしていきます。

**【今年度のまとめ】**

常に地域の方々との協働の中で、子どもたちの中に、地域の方々への感謝の声があふいてきました。その中から、自分もこの地域の一員であることを自覚し、自分はどのように頑張りたいかを言えるようになったり、取組ごとにその準備から片付けまでを積極的に行動できたりしました。特に中学校では地域の方の見守りでの学習支援において自尊感情を高め、キャリア教育として取り組んでいるポスターセッションで、地域の方々に発信することにより、自己発信力にも自信を深めているところです。

**【来年度に向けて】**

今年度の取組紹介の中にも挙げたように、今年度からはじめた「飛鳥 CS だより」を、来年度も継続し、広く地域に協議会の取組を知ってもらい、興味を持ってもらうことと、ボランティアなどの形で活動に参加してもらえる裾野を広げていきたいことを考えています。

めざす子ども像

**地域に対する誇りと、地域を大切にすることを  
もち、自ら考え主体的に行動する子ども**

取組目標

**自分を知り、自己の考えを育て、それを皆の前で表現し、行動できる力を育てる**

## 【今年度の取組紹介】

昨年度から、本校区では地域コーディネーターが中心となって、飛鳥小、中学校それぞれで学習支援を行っていただいています。中でも中学校では、地域の学習支援ボランティアや校区内にある大学の学生による学習支援ボランティアなどをコーディネートしてもらい、毎週あすかスタサポ（放課後学習教室）を開室（定期テスト前には毎日開室）していただいています。今年はそのことが定着してきて、必ずこの教室に来る生徒も増えてきています。一方テスト前のあすかスタサポでは教室に入りきれないほどの生徒が集まって学習に取り組んでいます。その中で、コーディネーターやボランティアに教えてもらったりしながら、コミュニケーションを取ることも深まってきており学力向上だけではなく、コミュニケーション力も向上しました。また学習の成果も出始めた生徒は「やればできる」自尊感情を少しずつではありますが高めることができきています。例えば、学期毎の反省でも「スタサポに行ってよかった。」や「来学期はもっとスタサポを活用する。」ということが表れはじめていることで評価できます。

また、飛鳥中学校区では、子どもと大人、保護者と地域と学校（教職員、生徒）が協働することを目標にしています。校内環境整備事業による花いっぱい運動の推進、タベのコンサートや飛鳥フェスティバル、校内クリーンキャンペーンによる地域行事・育友会行事の活用、地域の方々による3年生の面接練習など、様々な場面で生徒と地域とが関わりあえる取組を推進してきており、年間を通じて数多く大人と子どもで協働できるように取り組んでいます。



## 【今年度のまとめ】

「未来を切り拓く力」の育成に向けて地域行事、学校行事、そしてキャリア教育においても、常に地域との協働を基本にすえ、活動にとりくんできたことで、子どもたち自身が自分たちに期待されていることと、常に支援されていることをしっかりと理解し、あらゆる面で積極的に安心して取り組むことができました。子どもたちが記す文章でも、地域の方への感謝の言葉と地域の中で自分にできることを探す姿勢がみられました。また、そのような子どもの姿勢に対する地域からの評価も高まり、次への期待につながってきています。

## 【来年度に向けて】

今年は「(地域の中で、地域の方と共に)自ら考え主体的に取り組む」ことをテーマに取り組んできました。その基盤となる「人と関わる力」「自分に誇りを持つ力」「確かな学力」の育成に向けて、これからもコーディネーターと教職員がしっかりと連携し、地域行事・学校行事での地域との協働を深化しつつ、生徒の学力支援などに取り組んでいきたいです。

めざす子ども像

## 地域に対する誇りと、地域を大切にすることを 持ち、自ら考え主体的に行動する子ども

取組目標

地域に根差した学習活動等において、地域の方々がより活躍できる出会いの場を計画し、児童が様々な地域の方々と出会うことで、地域のよさに気づき地域を大切にしようとする意識を育てる。

### 【今年度の取組紹介】

今年度は夏の酷暑の影響を受け、夏休みに計画していた事業については、地域の方々と保護者ボランティアの方々と中止や変更の検討を行いながら取組を進めました。

「カヌー教室」については、ミストシャワーやミスト扇風機を設置して熱中症対策を行うとともに、待機中も腰洗い槽を小プールに見立てて水遊びを行うなど指導にも工夫を凝らしました。大学や企業の支援が充実し、今年度は定員を超える申し込みがあるほど人気のある事業に成長しています。



「夏休み宿題サポート学習会」については、午前の早い時間帯に時間を設定し、事前に申し込みをとることで、連絡のない欠席児童には家庭連絡を行うなど、安全に配慮して取り組みました。低学年、特に1年生の参加が多く、宿題を早く終えた児童は、地域の方々と相談してプリントを選ぶなど、地域の方々とのおい出会いの場となりました。



### 【今年度のまとめ】

世界遺産学習などで児童が地域に出向く際の引率や見守り活動、カヌー教室や宿題サポート学習会などの運營業務、学校図書 of 整理や会議時の託児などの育友会活動に対するボランティア活動など、地域の方々の支援により、取組の充実と併せて教職員や育友会役員・委員の負担軽減に結び付いています。コーディネーターが地域の教育機関や諸団体をつなぎ、地域ネットワークが充実したことで、地域の活動を担う人材が広がり深まってきました。地域の方々と児童の出会う場面がより充実したことで、地域の方々の学校に対する思いがより児童に伝わった1年でした。

### 【来年度に向けて】

今年度は、地域の方々と学校や児童とのつながりが深まったことを実感できた1年でしたが、来年度も一層、小学校が地域の教育力を支え高める拠点として機能できるようにしていきたいです。そのためにも、しっかりとした見通しと計画をもって個々の事業を実施するとともに、活動に対する評価を適切に行い、より充実した取組となるよう努めることで、地域と学校の継続的な連携を図り、児童と地域をつないでいきたいです。

めざす子ども像

**地域に対する誇りと、地域を大切にすることを****もち、自ら考え主体的に行動する子ども**

取組目標

**地域の一員として、友達や地域の方々や文化財にかかわり、親しみ感謝の気持ち、大切にしようとする心を育むため地域との連携を密にする。**

## 【今年度の取組紹介】

○ ママさんブラス『あすかきらきらファミリーコンサート』

小学校の体育館を借りて地域で活動されているママさんブラスの方に来ていただき小学校一年生や、隣の保育園児、地域の方を招待し、本物のいろいろな楽器の音に耳を傾けたり一緒に歌ったりして楽しく過ごしました。地域の方からも「楽しかったよ」と、好評でした。

○ お話の会

年間を通して地域のお話の会の方々に来ていただき、いろいろな絵本や紙芝居を見せてもらいました。お話が大好きな子に育ってきており話を集中してきけるようになっていきます。会の方からも誉めてもらいました。

○ わらべうた教室

年三回、音声館から講師を招き、全園児でわらべ歌遊びを楽しみました。わらべうたのリズムに合わせて、体を動かしたりおてだまやまりつきをしたりなど、いろいろな遊びを教してもらいました。友達と呼吸を合わせて動きながら触れ合うなど一緒に遊ぶ楽しさを味わいました。



## 【今年度のまとめ】

- 地域の方々の教育力をいかし、様々な体験をすることができました。また、年間通して行事があるごとに地域の方が参加してくださったり、手伝ってくださったりしたので、周りの人への感謝の気持ち、人とかかわる心地よさを感じ、親しみを持って接するようになりました。
- 色々な活動を年間計画に数回位置づけたことで次第に主体的に取り組もうとする幼児が増えてきました。できなかったことにもあきらめずに挑戦しようとする意欲も育ってきています。
- 地域に出かけたり、地域の方に来ていただいたりすることで、地域を知り、地域を大切にしようという気持ちが育ってきていると同時に、挨拶なども進んでするようになり、自分から声をかけるなどコミュニケーション能力も育ってきています。

## 【来年度に向けて】

- 地域の方々とさらに連携を深め、教育力を得ながら、豊かな経験を積み重ねたいです。また、進んで地域に足を運び、地域をよく知ったり文化財に触れたりして、地域を大切にすることを育み、今年度の取組を継続して実践していきたいです。